

## 研究開発課題説明資料（事前・中間評価）

### 1. 課題名

住宅基礎の構造性能評価技術の開発

### 2. 主担当者（所属グループ）

田村昌仁（国際地震工学センター）

### 3. 背景及び目的・必要性

住宅とりわけ戸建住宅の場合、その構造障害の多くが基礎・地盤に密接に関わっているが、宅地や敷地自体の扱いを含めて、住宅の基礎及び地盤に対する性能評価法が未成熟なまま現在に至っている。

今回の研究の目的は、住宅基礎に関して技術的に未整備な部分を総合的に検討し、新たな性能評価法を提示するものである。

### 4. 研究開発の概要・範囲

戸建住宅に関しては、新規の造成地において沈下障害が多いことを鑑み、沈下の検討方法や基礎及び地盤の性能評価や性能表示法の開発を目指す。検討に当たっては、都市基盤整備公団の宅地部局や学識経験者、実務者化などと連携し、全国各地の造成宅地の地盤情報等（例えば、盛土や切土の平板載荷試験や圧密試験結果など）を収集分析し、盛土等の沈下観測及び沈下解析や地盤データベースの構築など行う。また、基礎の構造方法や構造計算の方法についても検討を行う。

上記の研究成果は、ガイドライン等の形でとりまとめ、技術情報の提供を行う。

### 5. 達成すべき目標

本研究成果をガイドライン等の形でとりまとめるとともに、成果の一部は学術雑誌等に公表する。また、都市基盤整備公団などと連携して実務への普及促進を目指す。

### 6. 達進捗状況

戸建住宅のための地盤調査、基礎の設計・施工・管理のそれぞれに対して、評価方法の基本的な考え方を提示しており、学術論文や専門誌などに研究成果を公表している。これらの成果に関しては、東京都、(財)住宅保証機構、宅地開発協会、地方建築関連団体などの講習会を利用して実務への普及を図っている。また、研究成果の一部は、(財)住宅保証機構における設計基準の改定、地盤工学会の基準解説などに直接反映される予定である。